

2018年9月14日

公益財団法人真田山陸軍墓地維持会

理事長 吉川 秀隆 様

特定非営利活動法人

旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会

理事長 小田 康徳

ご協力の申し入れ

旧真田山陸軍墓地のことではいつも大変お世話になっております。

さて、9月4日の台風21号では墓地に大きな被害が出て、その原状回復については大きな課題となっております。このような中、貴会に於かれては、例年の慰霊祭を前に、9月29日にボランティアを募り墓地の復旧作業を実施されるとか承っております。当日はあまり墓地に詳しくない方も来られると拝察しますが、そうしたボランティアの方々を正しく指導し、ていねいな作業を完遂することは大変なことと拝察しております。

実は、当会もすでに大阪市建設局管財課を訪問し（9月6日）、別紙のような申し出書を提出し、破損墓碑に関する記録の作成と、墓碑を傷めない慎重な復旧工事をお願いし、協力の用意があることも伝えております。

墓碑を傷めず墓碑をもとの場所、もとの向きに復旧し、さらに倒壊に伴って生じた破片等の処理も万全に行うことは大変なことと考えています。

幸い、当会をご存知のように個人墓碑に関する2種類の基本的データを所有しております。また、9月5日には仮の調査ですが、倒壊した墓碑に関する記録も作成しております。これらは、墓碑の元あった場所を特定するうえで大いに役立つものと考えております。ぜひご利用いただきたく、申し入れます。その際本会メンバーが現場で協力することもできるかと考えています。

なお、墓石の立て直しについては、台石の上での安定的な固着の必要性や安全性から見ても専門の業者に任す必要があるのではないのでしょうか。倒れた墓石はとりあえず台石の上に横たえておけばいいのではないのでしょうか、それからはがれた破片については、落下している場所から撤去すると、元の墓碑との関係がわからなくなりますので、落下している地点に最も近い墓碑の台石に乗せておく等の方法を講じていただければ、後のためにも有益かと存じます。

本会では、9月23日（日）には本会主催の定期案内会（墓地内の危険性を考慮し、可能

なところで実施します) および当会理事会の開催を予定しておりますが、当日、理事を中心に、倒壊した墓碑について安全上可能な範囲でさらに詳細な記録を作っていく予定です。これもまた出来れば。ご利用いただけるのではないかと期待しております。

以上